

生物環境システム学科

教職コースの受講許可を受けた学生は p.68 ~ 70 「履修案内」 を見ること

カリキュラムの特徴

1 生物環境システム学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・実習・演習・研究）

生物環境システム学科の学生が学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物資源学科科目群・生命化学科科目群・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 学外プログラム

生物環境システム学科では、2年次に全員が海外プログラム（カナダまたはオーストラリアのどちらかを選択）および国内プログラム（北海道または鹿児島どちらかを選択）に参加しなければなりません。

- (1) 海外プログラム：カナダプログラムの授業は主にバンクーバーアイランド大学で行われ、一部玉川大学ナナイモキャンパスを利用します。第3セメスター（3月下旬～7月）または第4セメスター（9月～12月）のどちらかに派遣されます。オーストラリアプログラムの授業はクイーンズランド大学で行われ、第4セメスター（9月～12月）に派遣されます。

※派遣期間は、日本および各国の暦や諸事情から、年によって若干変更されることがあります。

- (2) 国内プログラム（「生物環境実習Ⅱ」の一部）：北海道プログラム、および鹿児島プログラムは第3セメスター終了後の夏休みに実施される予定です。

■派遣先と派遣時期の決定方法

第2セメスターに希望調査を行い、必要に応じて人数調整の上、案が決定されます（10月～11月を予定）。希望に偏りがあり、調整が困難な場合は、学科として機械的に調整を行う場合があります。結果は文書にて、学生本人と保証人にお知らせする予定です。第2セメスター終了時の進捗チェックに抵触すると、1学年に留年となり、海外派遣、国内派遣ともに派遣は取り消し、翌年度に延期となります。

3 領域配属（教職コースを除く）

生物環境システム学科には、「生態系科学領域」「生物生産環境学領域」「環境社会科学領域」の3領域があります。第4セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (2) 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第3セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。
- (3) 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。

卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み8単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から6単位以上を含み、合計20単位以上を修得していること
- ③ 生物環境システム学科科目群の必修講義科目30単位を修得していること
- ④ 生物環境システム学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（「卒業研究」を除く）16単位を修得していること
- ⑤ 「卒業研究」6単位を修得していること
- ⑥ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑦ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

卒業に必要な最少単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位で、生物環境システム学科の場合その内訳は次のとおりです。

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	8単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
言語表現科目群	6単位以上
生物環境システム学科必修科目	52単位
必修講義科目	30単位
必修実験・実習・演習・研究科目	22単位（卒業研究を含む）
選択科目	任意
生物環境システム学科選択科目 他学部・他学科開講科目 教職関連科目 ユニバーシティ・スタンダード科目 他大学との単位互換科目	
計	124単位以上

履修上の留意事項

- (1) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。

「生物学入門」「化学入門」

- (2) C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.33を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。

ただし、農学部各学科が開講する実験・実習・研究科目(演習科目を除く)、インターンシップ科目は、再履修制度の対象に含みません。また、海外プログラムにおける科目はすべて、再履修することはできません。

- (3) 「卒業研究」は、第7 Semester・第8 Semesterともに必ず履修登録してください。
(4) 時間割(時間帯・教室など)については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。

- (5) 教職関連科目群の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます。


農学部教職コース履修案内
p. 68 ~ 70